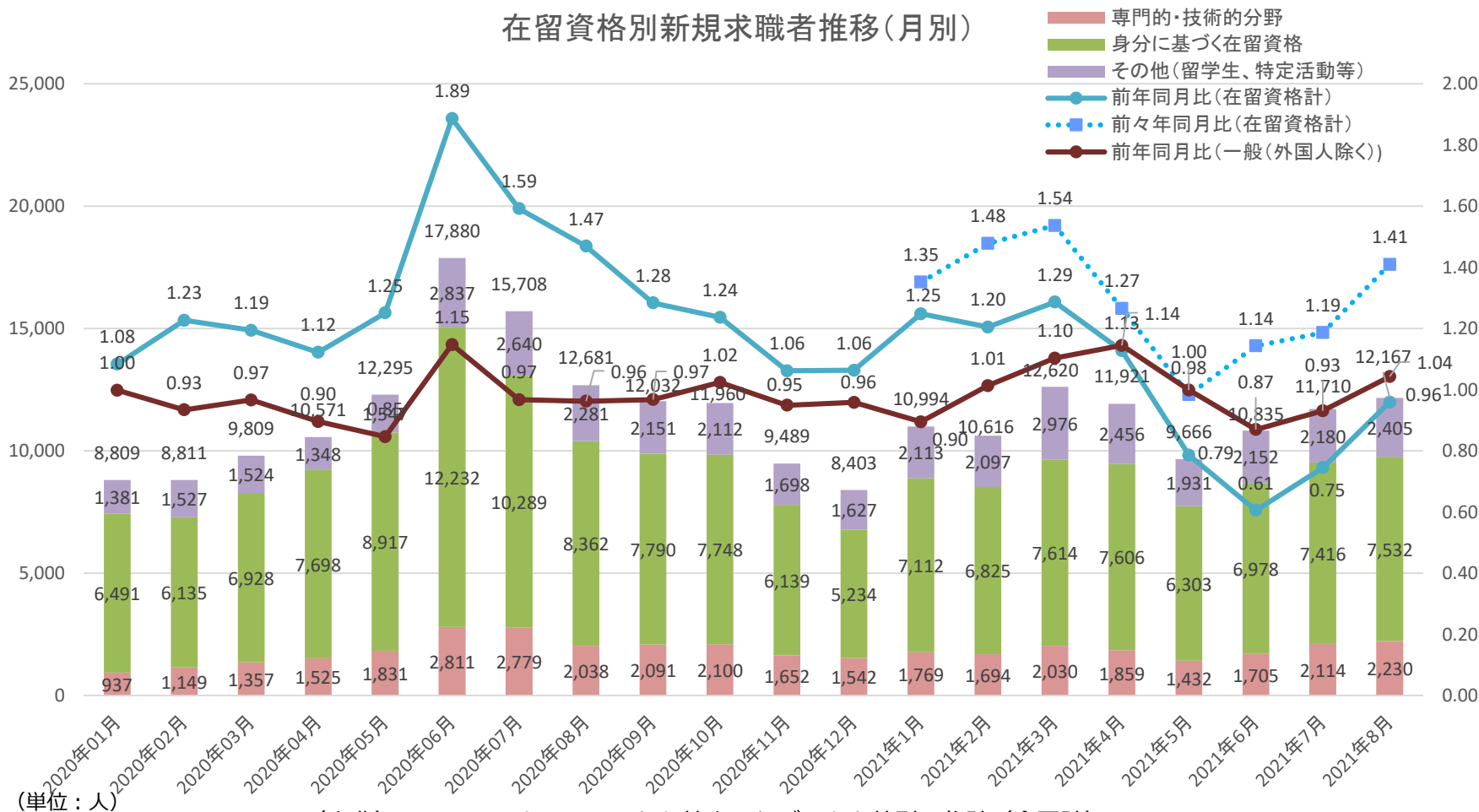


- **新型コロナウイルス感染症禍における外国人雇用の状況について**

① 外国人求職者の分析

ハローワークにおける外国人新規求職者数の推移

- ハローワークにおける外国人新規求職者数（在留資格計）の前年同月比は、昨年6月に急激に上昇して**1.89倍**となった後、1.06倍まで低下したが、直近では、前々年同月比※で**1.41倍**まで上昇している。外国人労働者は、**コロナ禍による景気の影響を受けやすい**と考えられる。
- 求職者の大部分は、身分に基づく在留資格（永住者、日本人配偶者等、定住者等）が占めている。
- ※ 2020年1月以降はコロナ禍の影響があると考えられるため、2021年1月以降のデータは2019年同月との比較も追記した。

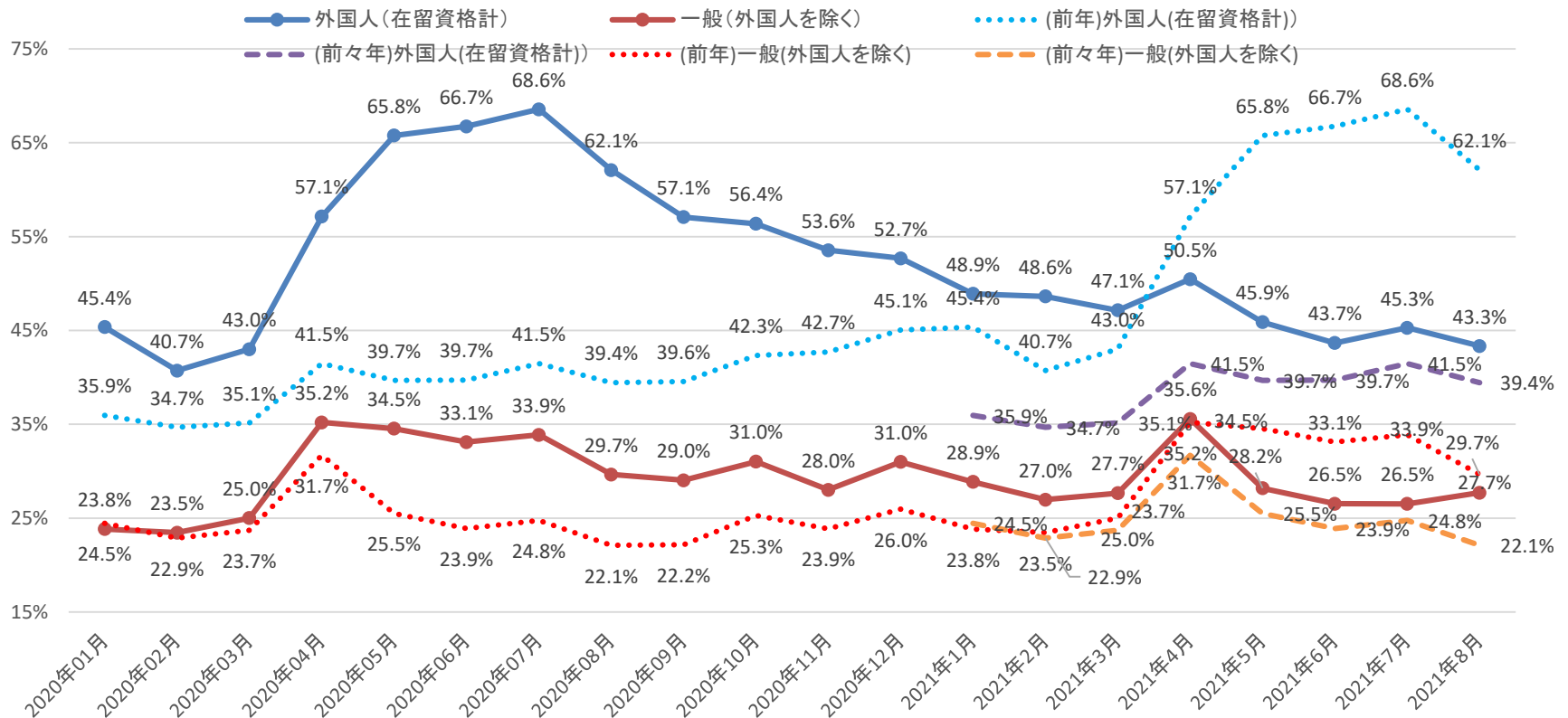


(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計(全国計)

外国人の非自発的離職の割合の推移（在留資格計）

- ハローワークの**新規求職者**（在職中を除く。）における**非自発的な離職（事業主都合）の割合**の推移を**外国人と一般（外国人を除く）**に分けて示す。
- 外国人の非自発的離職の割合は、昨年4月以降増加し、**7月には約7割に達した**後、漸減し、直近では**43%**となっている。前年同月比では、一貫して上振れし、昨年7月では**27ポイント程度**の差となり、その後、徐々に減少したが、本年は、**前々年同月比*で5ポイント程度**上振れしている。
- 一般（外国人を除く）と比較すると、**最大で35ポイント、直近でも15ポイント程度、外国人の方が高い**。外国人雇用はコロナ禍による景気の変動に影響を受けやすいと考えられる。
- ※ 2020年1月以降はコロナ禍の影響があると考えられるため、2021年1月以降のデータは2019年同月との比較も追記した。

一般・外国人別事業主都合離職率（新規求職者）

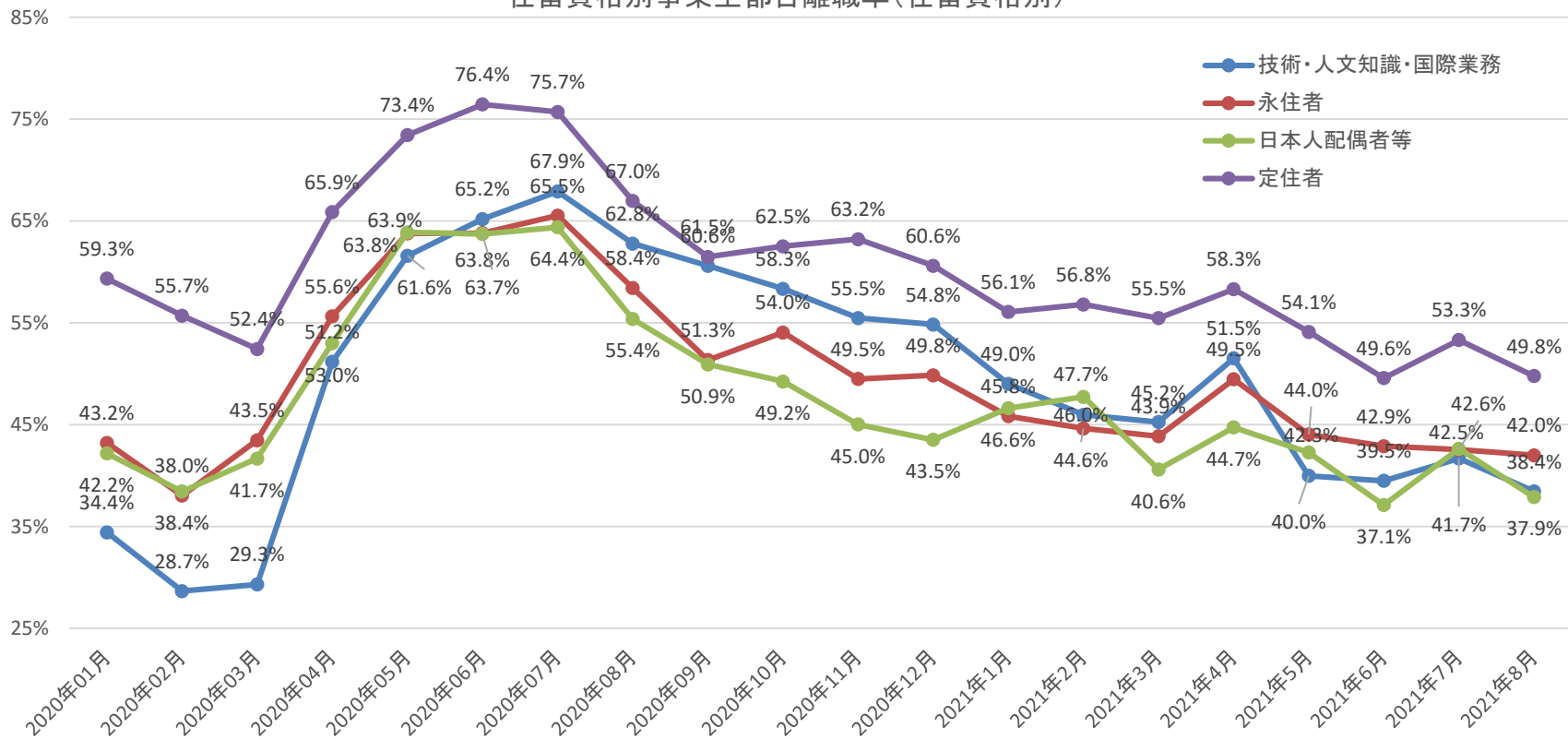


(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計（全国計）

外国人の非自発的離職の割合の推移（在留資格別）

- ハローワークの新規求職者（在職中を除く。）における非自発的な離職（事業主都合）の割合を在留資格別に分析した。在留資格による差が大きい。
- 身分に基づく在留資格（永住者、日本人配偶者、定住者）については、トレンドはほぼ一致しているが、在留資格により非自発的な離職の割合には差があり、定住者において割合が最も高く、日本人配偶者等より10ポイント程度高い水準で推移している。
- 技術・人文知識・国際業務については、昨年2～3月は日本人配偶者等より10ポイント程度低い水準にあったが、昨年6～本年1月、日本人配偶者等より高い水準で推移し、直近はほぼ同程度となっている。

在留資格別事業主都合離職率（在留資格別）

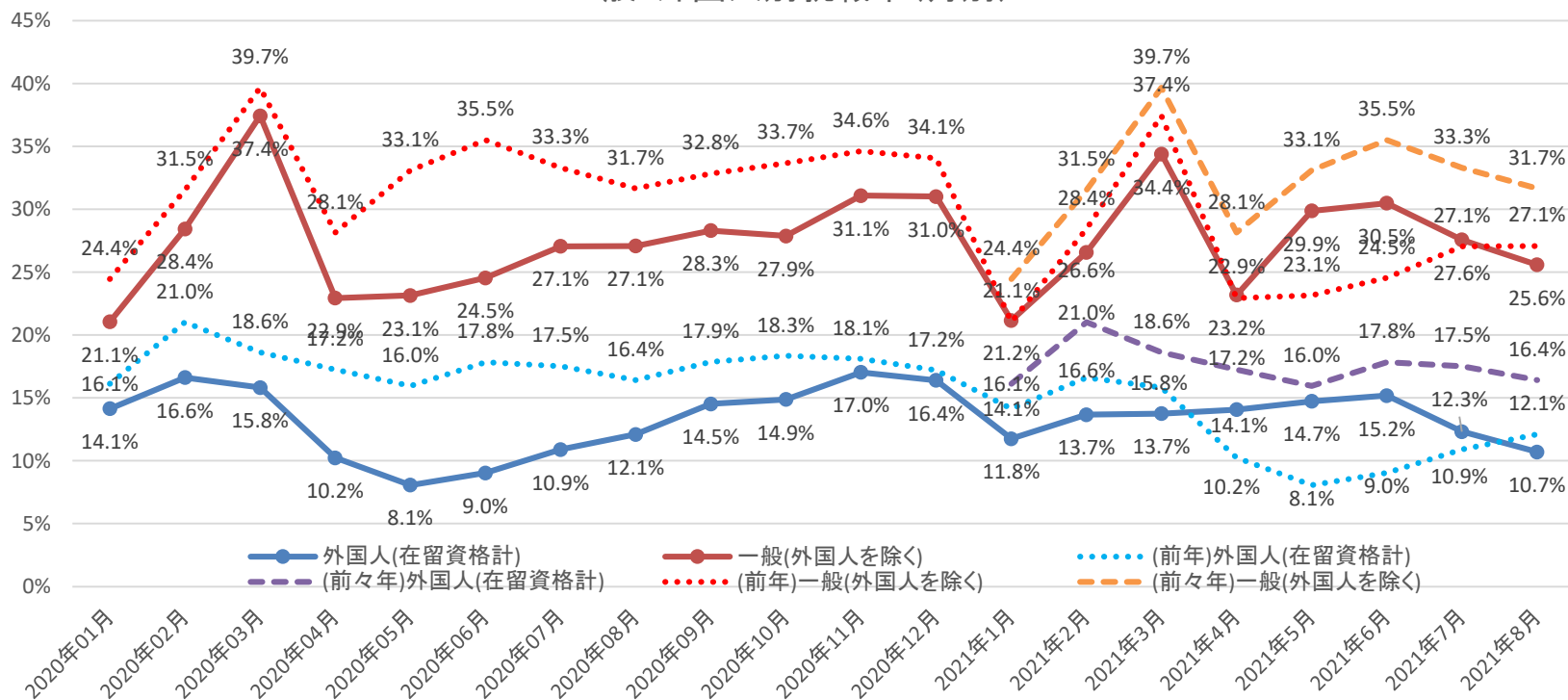


(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計（全国計）

ハローワークにおける一般・外国人の就職率の推移

- 外国人（在留資格計）の就職率は、昨年5月には8%に低下し、前年同月比で8ポイントの下振れとなった後、徐々に持ち直し、前年度ほぼ同水準となったが、直近は低下傾向となり、前々年同月比※で7ポイント下振れしている。
 - 一般（外国人を除く）の就職率※は、昨年4月に23%に急減して低水準で推移し、前年同月比で昨年6月に11ポイント下振れしたが、徐々に持ち直した後、直近では低下し、前々年同月比※で、6ポイント程度下振れしている。
 - 外国人の就職率は、日本人と比較して15~20ポイント程度低い水準で推移し、直近では20ポイント低く、ハローワークからの意見では、この差は、職場におけるコミュニケーション能力や在留資格による制約等によるところが大きいとしている。
- ※ 2020年1月以降はコロナ禍の影響があると考えられるため、2021年1月以降のデータは2019年同月との比較も追記した。
 ※ 月間のハローワークにおける就職者数を同一月間の新規求職者で除した値。

一般・外国人別就職率(月別)

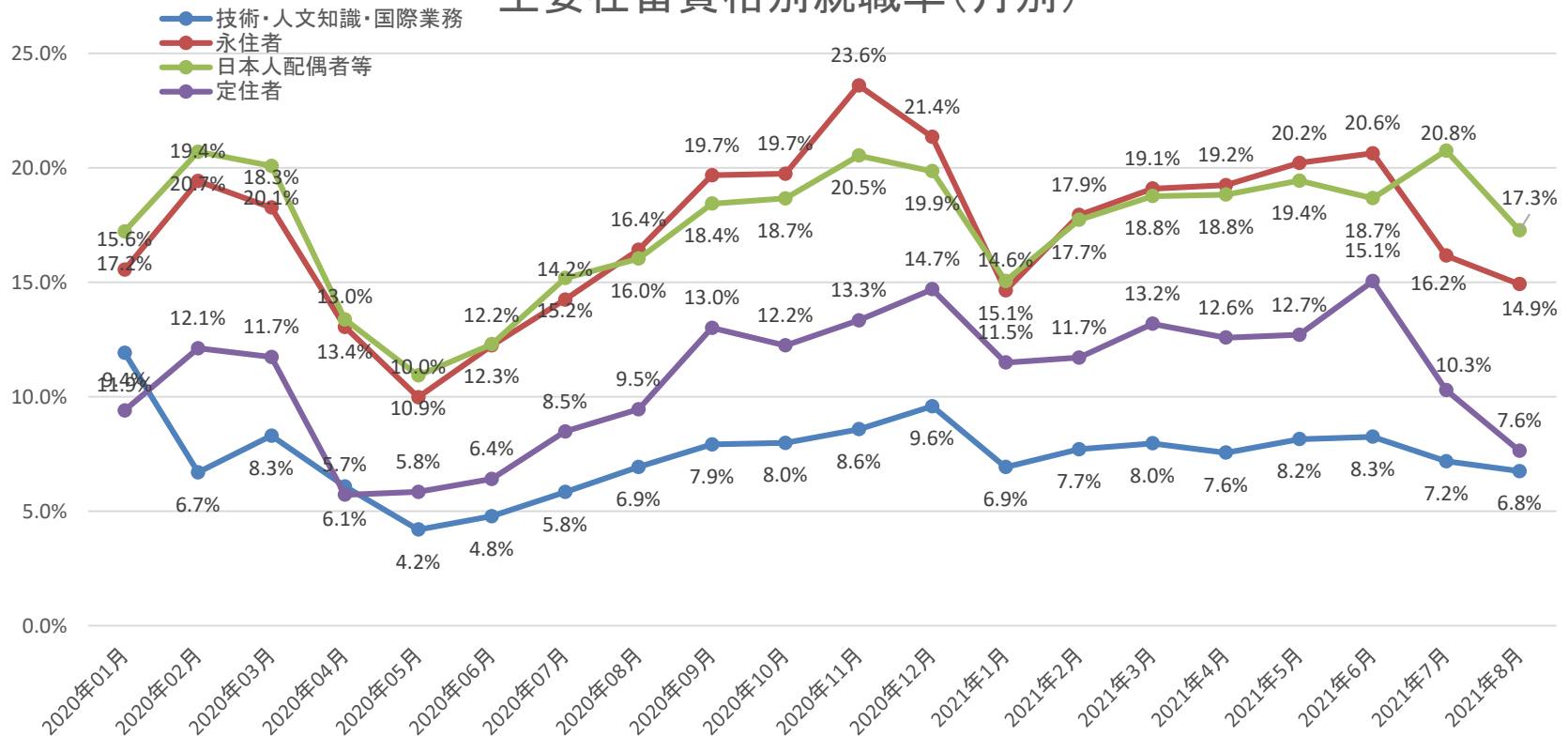


(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計(全国計)

ハローワークにおける在留資格別の外国人就職率の推移

- 就職率は、在留資格によって異なる。永住者、日本人配偶者等及び定住者の就職率のトレンドはよく一致しているが、定住者の就職率は日本人配偶者と比較して5～10ポイント低い。
- 専門的・技術的分野の就職率のトレンドは身分に基づく在留資格とは異なり、就職率も身分に基づく資格と比較して低い水準で推移している。
- ハローワークからの意見として、専門的・技術的分野については、在留資格による職種の制約とそれに伴う求人の不足、定住者については、職場におけるコミュニケーション能力の不足等が上げられている。

主要在留資格別就職率（月別）



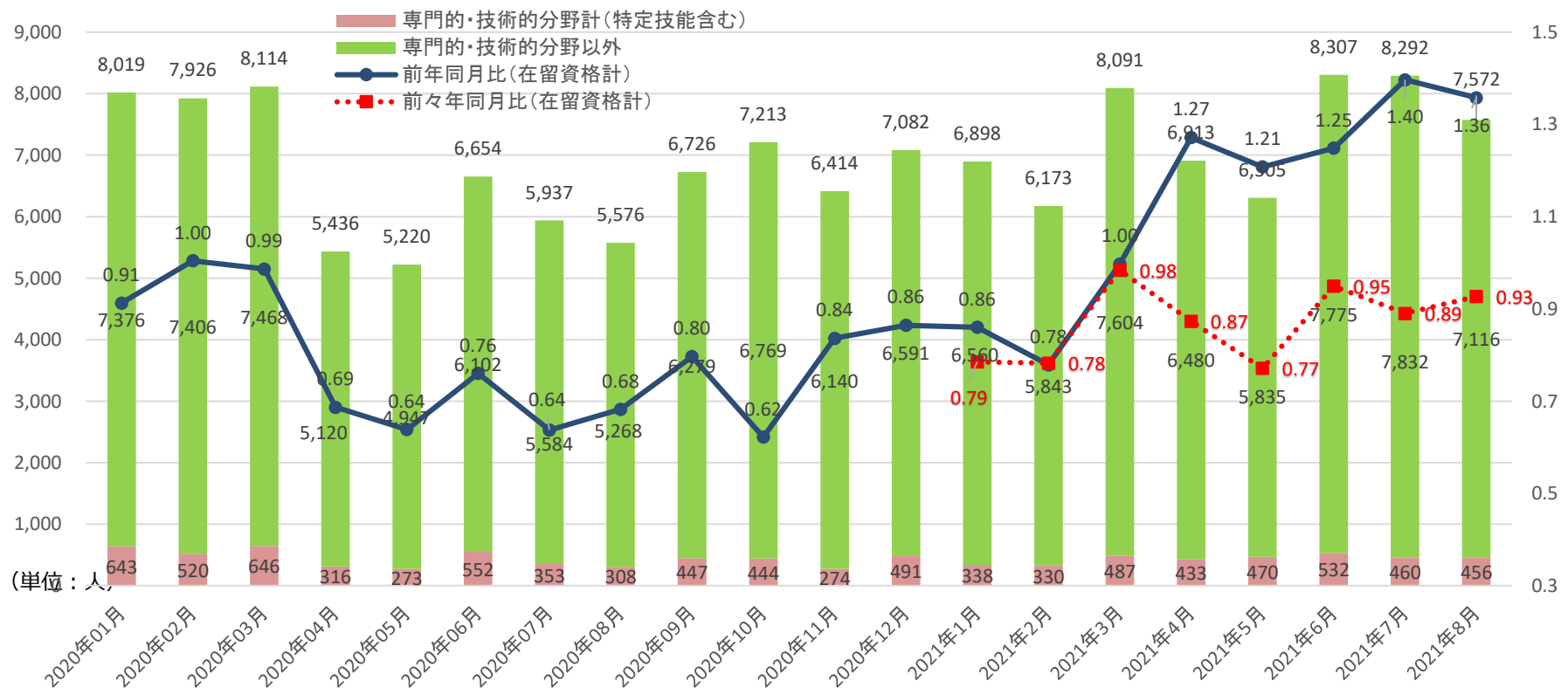
(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計（全国計）

② 外国人向け求人分析

ハローワークにおける外国人向け新規求人数の推移

- ハローワークにおける外国人向け新規求人数(在留資格計)*は、昨年4月から急落し、3割減となった後、11月以降は、15%減で推移し、本年も前々年同月比*で10%減程度で推移している。コロナ禍による景気の影響からは脱していないと考えられる。
- 求人数の大部分は、専門的・技術的分野以外の在留資格(永住者、日本人配偶者等、定住者等)が占めている。
- ※ 求人受理時に明示的に外国人向けであることを把握した求人。なお、外国人への職業紹介にあたっては、外国人向け求人だけでは不足するため、一般向けの求人から外国人の就職の可能性のあるものを積極的に把握し、紹介している。
- ※ 2020年1月以降はコロナ禍の影響があると考えられるため、2021年1月以降のデータは2019年同月との比較も追記した。

外国人向け新規求人数(在留資格別・月別)

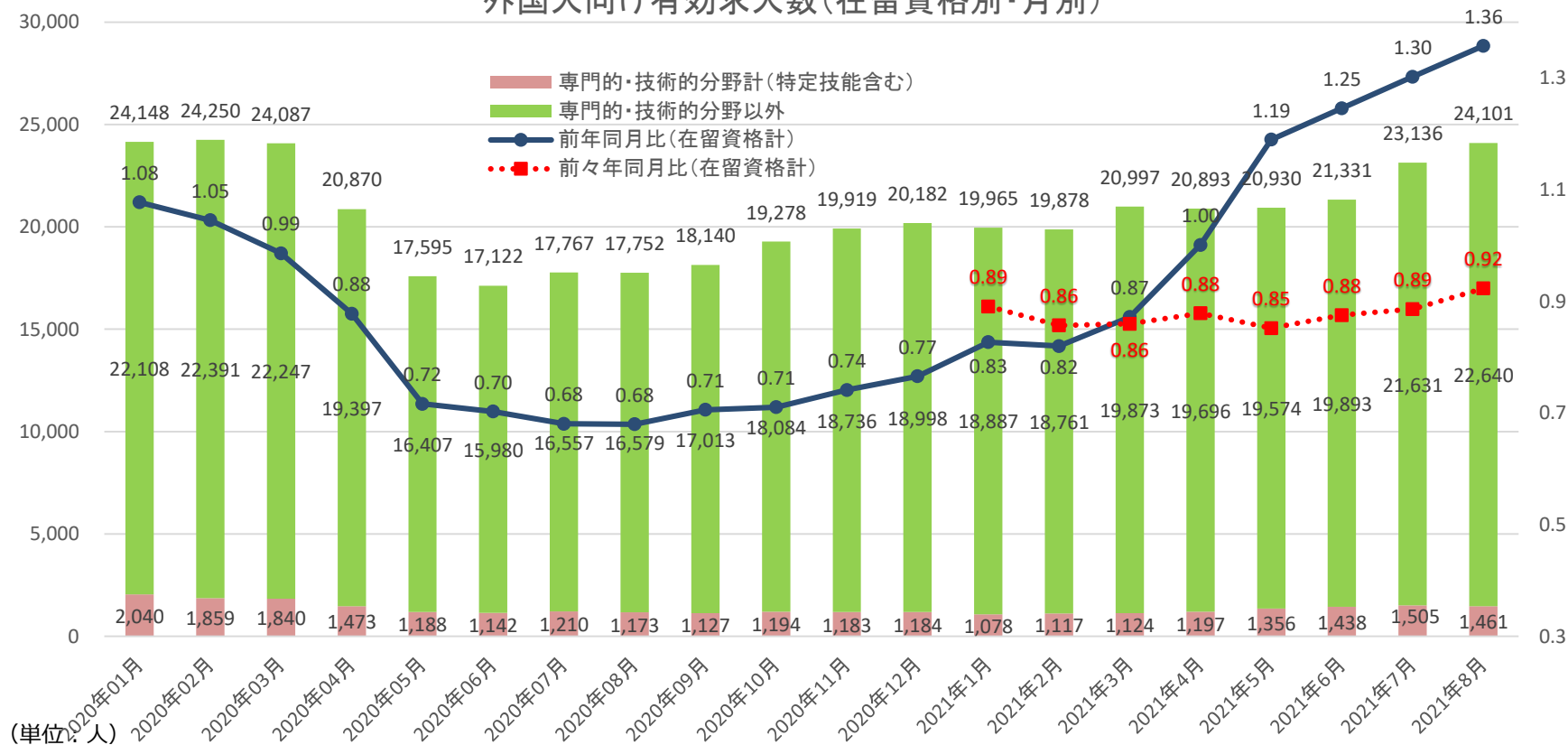


(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計(全国計)

ハローワークにおける外国人向け有効求人数の推移

- ハローワークにおける外国人向け有効求人数(在留資格計)*は、昨年5月に前年同月比で3割程度減少した後、徐々に持ち直したが、**本年も前々年同月比*で10%程度の減で推移**している。コロナ禍による景気の影響から脱していないとみられる。
- 求人数の大部分は、専門的・技術的分野以外の在留資格（永住者、日本人配偶者等、定住者等）が占めている。
- ※ 求人受理時に明示的に外国人向けであることを把握した求人。なお、外国人への職業紹介にあたっては、外国人向け求人だけでは不足するため、一般向けの求人から外国人の就職の可能性のあるものを積極的に把握し、紹介している。
- ※ 2020年1月以降はコロナ禍の影響があると考えられるため、2021年1月以降のデータは2019年同月との比較も追記した。

外国人向け有効求人数(在留資格別・月別)



(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計(全国計)

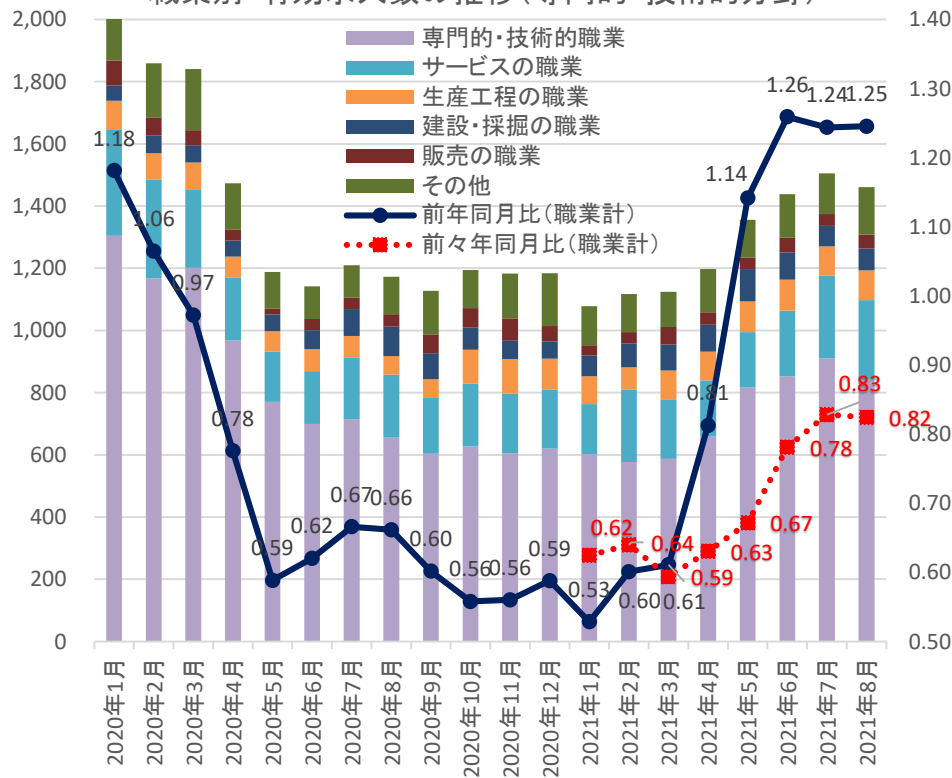
ハローワークにおける職業別の有効求人数の推移（在留資格別）

- 専門的・技術的分野の有効求人数※は、昨年5月に前年同月比4割減で推移していたが、本年からは前々年同月比※で徐々に改善し、直近では20%程度の減となっている。職業別では、昨年1月と比較して専門的・技術的が大幅に減少していたが、本年に入り、徐々に持ち直している。
- 専門的・技術的分野以外の有効求人数※は、昨年5月から3割程度の減少となっていたが、徐々に持ち直し、本年に入って前々年同月比で10%減程度となっている。職業別では、サービス、運搬・清掃等が減少したが、持ち直している。
- 専門的技術的分野の求人は、それ以外の分野と比較して、今なおコロナ禍による景気の影響を受けている。

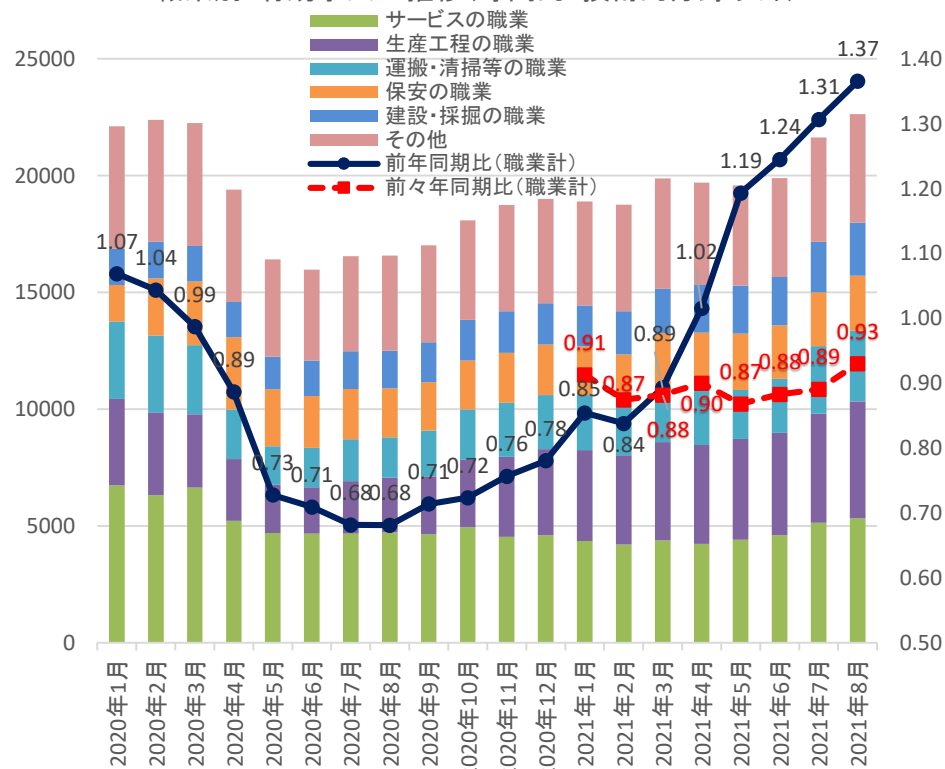
※ 求人受理時に明示的に外国人（専門的・技術的分野の在留資格を有する者）向けであることを把握した求人。なお、外国人への職業紹介にあたっては、外国人向け求人だけでは不足するため、一般向けの求人から外国人の就職の可能性のあるものを積極的に把握し、紹介している。

※ 2020年1月以降はコロナ禍の影響があると考えられるため、2021年1月以降のデータは2019年同月との比較も追記した。

職業別・有効求人数の推移（専門的・技術的分野）



職業別・有効求人推移（専門的・技術的分野以外）



(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計（全国計）

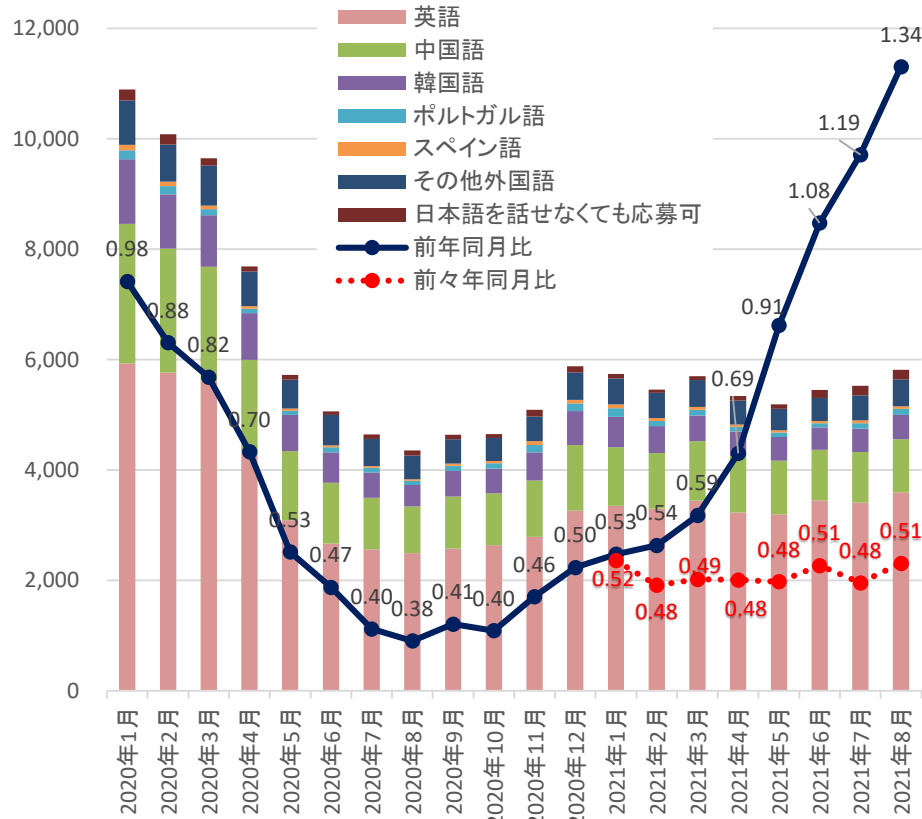
ハローワークにおける外国語使用有効求人数の推移

- ハローワークにおける外国語使用有効求人人数※は、前年同月比で6割減まで落ち込んだ後、徐々に持ち直したが、**本年に入っても前々年同月比※で5割減で横ばいで推移しており、コロナ禍の影響から脱していない。**
- 背景として、専門的・技術的分野のうち、**国際関係業務の求人が大幅に減少していることが考えられる。**
- 外国語使用有効求人数の職業別では、昨年1月と比較して、**5月以降、サービス、販売が減少するなど、インバウンドに関わる職業の減少率が大きく、コロナ禍による景気の影響を大きく受けていると考えられる。**

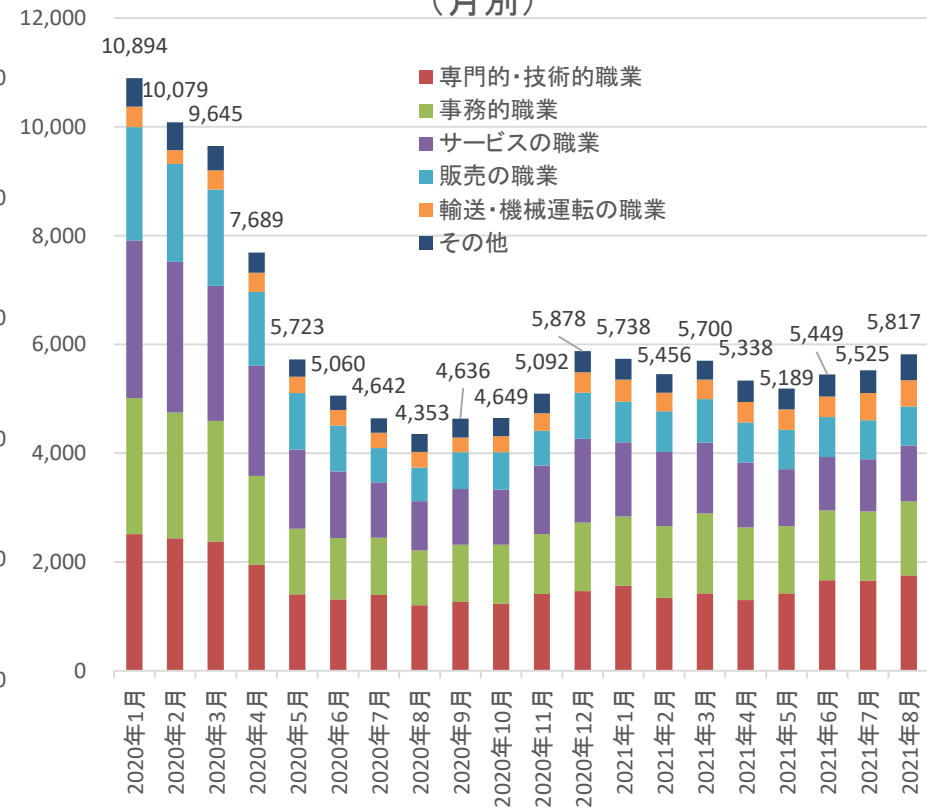
※ 求人受理時に明示的に業務で外国語を使用することを把握した求人。

※ 2020年1月以降はコロナ禍の影響があると考えられるため、2021年1月以降のデータは2019年同月との比較も追記した。

外国語使用有効求人(月別)



職業別・外国語使用求人(有効求人)の推移(月別)



(出典) ハローワークシステムから抽出したデータを特別に集計(全国計)